

やまがた米だより

No. 2

平成30年6月19日



山形県産米ブランド推進課
山形「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部
やまがた攻めの米づくり日本一運動本部

「つや姫」「雪若丸」田植えイベントを行いました

5月24日（木）山形市立南山形小学校の学習田にて、知事と南山形小学校の5年生54名などが参加して、「つや姫」「雪若丸」田植えイベントを行いました。

知事は、「皆さんと一緒に田植えをした「つや姫」「雪若丸」がすくすく育ち、実りの秋にはおいしいおコメになることを楽しみにしています。」とあいさつし、児童たちと一緒に手作業で田植えを行いました。

この日に植えた「つや姫」の苗は、児童たちが4月に自ら手で種を播いたものです。児童たちは、丈夫に育った苗を嬉しそうに持ち、一株一株優しく丁寧に植えていました。

田植え後は、南山形小学校で「つや姫」「雪若丸」のおにぎりと、地元産のアスパラガスやきゅうり、保護者の方々手作りの豚汁でお昼ごはん！皆ぺろりとたいらげ、おかわりの列ができるほどでした。

皆でおいしいおコメになるようお願いを込めて植えた「つや姫」と「雪若丸」。秋の収穫が楽しみです。

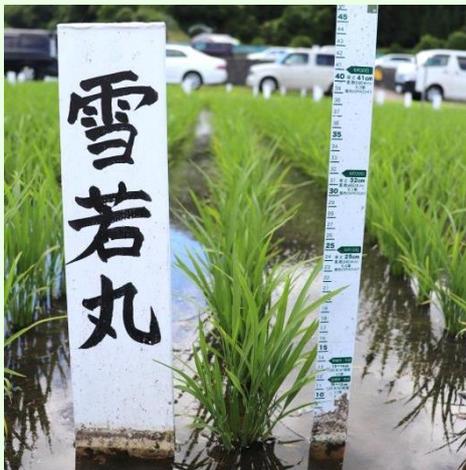


知事と山形市立南山形小学校の児童



チーム雪若丸は田植えもお手のもの！

今秋「雪若丸」が本格デビュー！



順調に生育する「雪若丸」
(H30. 6. 13 農業総合研究センターで撮影)

「雪若丸」が今年の秋いよいよ本格デビューします！

昨年は約200tを先行販売し、消費者の方から「おいしかった」「また購入したい」という嬉しい声を頂いています。

今年は、約10,000tを生産する予定です。生産者の皆さんも、最高の「雪若丸」を皆さまにお届けしようと、栽培研修会に参加したり、地域ごとに生産者同士で稲の生育状況を見て回り情報交換を行ったりと、気合いを入れて生産に取り組んでいます。

秋には、大粒でしっかりとした粒感が味わえる「雪若丸」を、ぜひおなかいっぱい召し上がってください！

スポーツイベントで「つや姫」「雪若丸」をPR!

「つや姫」と「雪若丸」を食べて、体を動かす活力にしていきたいと思います!という思いから、県内各地で行われたスポーツのイベントで「つや姫」「雪若丸」をPRしました。

県外の方からは、「山形県の「つや姫」「雪若丸」を食べてみたかった」という声が多く聞かれ、大変喜んでいただけました。



5月13日(日)モンテディオ山形のホームゲームで、対戦チームである大宮アルディージャの選手や審判団へ「雪若丸」を贈呈しました。サポーターの皆さんには、「雪若丸」の一口おにぎりを試食していただき、大変好評でした。

6月2日(土)ひがしねさくらんぼマラソンのゲストランナーに「つや姫」「雪若丸」をプレゼントしました。

研究のウラ側、お見せします!

春の一斉田植え



手作業の田植えは体力勝負!
足腰を駆使して植えていきます。



転んで泥だらけになる職員も...

山形市みのりが丘にある、山形県農業総合研究センターでは、水稻や大豆、麦などの試験研究を行っています。

毎年、研究のためセンター内の田んぼに田植えを行うのですが、植える品種数がとても多く、加えて、精密な試験データを得るため、植える苗の本数も決められていたり、植える場所も細かく区切られていたり、機械では田植えができません。

そこで、センターや関係機関の職員が手作業で田植えをする「一斉田植え」を行っています。今年は、総勢70名が集まりました。職員らの手によって正確に植えられた稲は、試験区ごとに厳密に管理され、貴重な試験データが集められます。

このようにして、センターではコメづくりに関するデータを蓄積し、生産者の皆さまに役立つ栽培技術の確立に取り組んでいます。

また、センターでは、毎年9月上旬に施設の一般公開「参観デー」を行っています。普段は入ることができない研究施設です。「参観デー」には、ぜひ、遊びに来てください!